

やとみ

議会だより

No. 4

2007年
1月31日発行



1/8 成人式（総合社会教育センター）

平成18年12月定例会…………… 3

一般質問…………… 5

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

☎ (0567) 65-1111 ファク (0567) 67-4011



年頭のご挨拶



議会議長

大原 功

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、新たな夢と希望を抱かれ、平成十九年の初春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

旧年中は、市議会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、市民の皆様のご支援のもと弥富町と十四山村の合併が実現、愛知県下三五番目の都市として弥富市が誕生するという歴史的な年でありました。

本年は、新市建設計画の基本理念であります「美しい水と緑 みんなでつくる 交流拠点都市」の実現に向かって、さらに前進する年であり、市議会としては、「合併して良かった」と言われるよう、市当局とともに全力を傾注し、地域の発展と福祉の向上に努める決意であります。

昨今の社会情勢は、景気の回復の兆しが感じられるとはいえ、依然として国、地方の財政状況は厳しく、少子高齢化の急速な進展などを考えると、市の財政健全化に真剣に取り組んでいく必要があります。また、「弥富市安全なまちづくり条例」が、本年一月一日から施行され、より安全で安心して暮らせる地域社会の構築を目指し、新たな気持ちで議会としての役割を果たしてまいりたいと考えております。

年頭に当たり、皆様のますますのご多幸を心から祈念いたしますとともに市議会への一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさついたします。

おもな内容

定例会の審議内容	
18年度補正予算	3/4
.....	3/4
村上議員ご逝去	4
一般質問（7人）	5/11
やとみフラッシュ	12

表紙の説明

1月8日に、弥富市となつて初めての成人式が行われました。

二十歳となり選挙権が得られるのを契機に、市政にも関心を持っていただけだと思います。



平成19年4月より

中学3年生までの医療費は無料!

12月定例会

12月定例会を1日から18日までの会期で開きました。

市長から提出された18年度一般会計補正予算など16議案と、閉会中の継続審査とした乳幼児等医療費支給条例の一部改正は、原案どおり可決しました。また、人権擁護委員候補者を推薦しました。一般質問には7人が登壇しました。

乳幼児等医療費支給条例の一部改正

質疑・討論なく全員賛成

愛知県後期高齢者医療広域連合の設置

県内すべての市町村が加入する広域連合を設置するものです。(20年度設置)

質疑

質疑(安井議員)

広域連合議会に高齢者の声が届く仕組みを作り、高

齢者の意見を聞いて保険料の設定、減免規定を作るべきではないか。

答弁(佐野保険年金課長)

保険料などの細部については、今年度末に設置される後期高齢者医療広域連合で協議を重ね、決めていくことになる。

質疑(原沢議員)

これからは、地方分権の時代だといわれるが、この後期高齢者医療広域連合は地方自治権が奪われる内容だと考えるがどうか。

答弁(川瀬市長)

大きく広域でやるため、

基盤強化になる。従って意見も言えるし、改善もできる。自治権というものはあり、奪われることはない。

討論

反対討論(安井議員)

この制度は、保険料や減免制度が、高齢者の実態から離れた所で決められることになりかねず、高齢者の命と健康が脅かされる懸念があるので反対する。

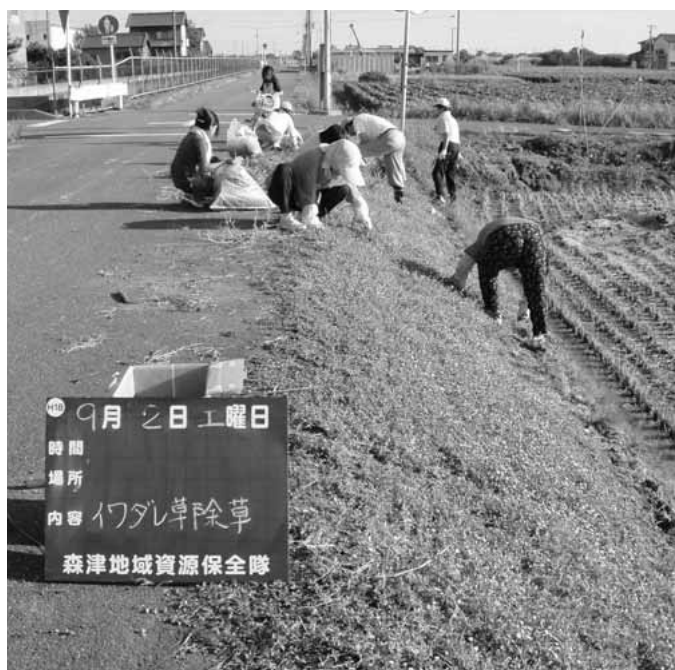
採決

賛成起立25人で可決

反対4人(三宮・原沢・安井・杉浦)
欠席1人

18年度一般会計補正予算

農地・水・環境保全向上対策支援業務委託料1000万円を含め総額6460万円を追加補正するものです。



▲農地・水・環境保全向上対策事業(森津地内)

質疑

質疑（安井議員）

後期高齢者医療広域連合
設立準備委員会の構成を教
えてほしい。

答弁（佐野保険年金課長）

県内の市町村長9人での
委員会、下部に全市町村の
担当課長での幹事会、担当
者での実務者部会がある。

質疑（三宮議員）

(1) 市税の調定額等から推
計すると、遅くとも9月議
会で基金繰入金を減額し、
当該年度収入でどれほどの
行政需要が賄えるかを明ら

かにするべきではないか。

(2) 予算書と予算説明書の
合冊をしてもらいたい。

答弁（北岡総務部長）

(1) 市税については調定や
収入に不確定な要素がある
ので、早い段階での計上は
行っておらず、今後適切に
対応していきたい。

答弁（加藤助役）

(2) 今後、わかりやすい形
で対応するよう努力する。

質疑（原沢議員）

(1) 弥富中学校屋内運動場
工事の工事費の総額および
財源内訳は。

村上末松議員のご逝去

弥富市議会議員村上末松氏は、平成18年11月2日に
ご逝去されました。



村上氏は、昭和59年3月に初当選され、以来、町議
会議員・市議会議員として町政・市政に貢献され、そ
の間、議長・副議長、建設経済常任委員長・厚生常任

委員長・文教常任委員長な
ど数多くの要職を歴任され
ました。

ここに弥富市議会は、故
村上末松氏のご逝去を悼み、
謹んでお悔やみ申し上げま
す。

(2) いじめ・不登校等対策
補助金の内容は。

(3) 農地・水・環境保全向
上対策支援業務委託料の内
容は。

答弁（前野教育課長）

(1) 工事費の総額は校舎等
が22億1550万円で屋内
運動場等は9億9000万
円を見込んでいます。財源は、
国庫補助金5億5300万
円・起債14億3000万円・
一般財源12億2250万円
を見込んでいます。

(2) スクールカウンセラー
や研修講師の派遣、リーフ
レットの作成を考えています。

答弁（早川農政課長）

(3) 実施組織の設立、規約
の策定、農地面積・農業用
排水路の現状把握に基づき、
農業施設の適正管理や環境
向上対策等の活動計画を作
成するための委託である。

討論

反対討論（安井議員）

後期高齢者医療広域連合
設立準備委員会負担金は、
広域連合設置の関連議案な
ので反対する。

採決

賛成起立25人で可決

反対4人（三宮・原沢・安
井・杉浦）

欠席1人

安全なまちづくり 条例の制定

地域全体の防犯意識を高
め、地域ぐるみでの防犯活
動の活発化を図るためのも
のです。

質疑（杉浦議員）

ここ数年の犯罪の発生件
数は低下傾向にあるのか。

答弁（北岡総務部長）

低下傾向であり、平成18
年に入ってから、主要手
口の侵入盗（空き巣・忍び
込み）、乗り物盗（自動車
盗）、車上狙い、自販機狙い
の減少は顕著である。

人権擁護委員

任期満了に伴い、後任の
候補者を推薦しました。

平野 広行 氏

（55歳・西末広）

絹川 和子 氏

（57歳・竹田）

3月定例会の開催日程(予定)

3月1日(月)から22日(木)
までの会期で開催予定です。

- 3月5日(月) 本会議(初日)
- 3月12日(月) 本会議(中日) 議案質疑
- 3月13日(火) 本会議(中日) 一般質問
- 3月14日(水) 建設経済委員会
- 3月15日(木) 厚生委員会
- 3月16日(金) 文教委員会
- 3月19日(月) 総務委員会
- 3月22日(木) 本会議(最終日) 討論・採決

・日程は変更になる場合もありますのでご
了承ください。

三 宮 十五郎 議員



情報を公開し市民の納得を得て行政を進めたか

質 三宮議員

川瀬市長の政治姿勢についてお尋ねします。

4年前の町長選挙に当たって、多選の弊害などの批判を意識されてか、「新しい時代のまちづくりを皆さんとともに」のスローガンを掲げ、「5力年で学校・保育所などの公共施設の耐震対策と避難所の充実を図ります」、「市町村合併問題、まず十分な判断材料の提供を」として「議論を尽くし住民投票を含む皆さんの望まれる方法で決められるようにいたします」、「情報公開、公正な住民参加の町づくりを進めます」、「町づくりは人づくり、教育・社会教育・文化・スポーツ活動への支援をいっそう充実します」などの公約を記した後援会ニュースを配布され

ました。

公約の多くが、当時の行政に対する改善要求の強いものであり、これらの諸課題に誠実に対応する意志さえあれば、行政と住民の信頼と協力を前進させる要となるはずでした。

私はこれらの公約は守られなかったのではないかと思います。市長の率直な自己評価をお伺いします。

また、この間、市民や職員が「市長、これはおかしいのではないですか」という提案ができない状態がつかられ、結果として、新聞などで「いったい弥富は何をやっているんだ」と報道される原因になっているのではないかと思います。

資料・情報を公開し議論を尽くす。法と道理に基づき、市民や職員の納得を得

て、議会の合意に従って市政を進める。これが現在の多くの市民の願いであり、要請であると思いますが、いかがですか。

住民の提言を行政に反映してきた

答 川瀬市長

私が、町政および市政を担当して、間もなく16年が過ぎようとしています。常に「住民との対話」を政治の基本姿勢として

「住んでよく、暮らして楽しいまちづくり」に向け、最大限の努力を傾けてきました。

「まちづくり」とは、行政の判断だけではなく、住民の皆さんの意見を聞きながら、住民と協働してつくり上げていくことが大切であると考え、これまで、できる限り地域に出掛

け、できるだけ住民の生の声をお聞きしてきました。また、中学生による模擬議会、町政懇談会・まちづくり懇談会・市政代表者懇談会などで意見・提言をいただき、町政・市政に反映してきました。

合併問題についても、住民の代表である議会議員や、各地区の区長および各種団体の役員の皆さんの意見を十分に拝聴しながら進めてきたところで、ご理解をお願いします。



▶ 中学生模擬議会

安井光子 議員



介護保険料・国保税の
減免基準を明確に

【質】 安井議員

(1) 増税や保険料の引き上げなどにより低所得者の暮らしは限界に来ており、救済の手が差し伸べられるべきだと思います。

介護保険料および国民健康保険税の減免規定にある「市長が必要と認めた者」の基準を明確にしてくださいませんか。

(2) 国民健康保険法の規定による医療費の一部負担金の減免要綱については検討していただけましたか。

生活保護基準以下の人は減免したい

【答】 佐野介護高齢課長

(1) 介護保険料は、生活保護基準の収入以下の人に対する減免を考えています。

【答】 佐野保険年金課長

(1) 国保税は、生活保護基準の収入以下の人に対し、一定の要件の下で申請日以後に発生する国保税の均等割と平等割の減免を考えています。

(2) 国保法による医療費の一部負担金の減免を実施しているのは、名古屋市ほか数市と聞いていますので、他市の動向を参考にしていきたいと考えています。

十四山地区の学童
保育施設の改善を

【質】 安井議員

(1) 桜・弥生学区の学童保育はほぼ定員一杯です。夏休みなどの対策を検討していただけませんか。

(2) 十四山地区の学童保育

は、施設を間借りしている状況で狭くて炊事設備も整っていません。計画的に改善していただけないか。

(3) 合併後に高くなった利用料が払えず、学童保育をやめさせた方が出ていますので、母子家庭・低所得者への減免制度を実現していただけないか。

新年度には施設を整備したい

【答】 川瀬市長

(2) 十四山地区の児童クラブ（学童保育）は、東部が公民館の和室、西部が小学校体育館の会議室で行っていますので、新年度には施設を整備していきたいと思っています。

【答】 服部民生部長

(1) 桜・弥生児童クラブについては、保護者の了解を得て、余裕のある施設に回っていただきましたので、今後も現在ある7施設の中

で対応していきます。

(3) 児童クラブの利用料は、必要な経費の一部を負担していただくという考え方で、ご理解願います。

十四山保育所の
保育バスの存続を

【質】 安井議員

十四山保育所の保育バスの運行については、合併協議会で、3年以内に見直すことになっていました。

十四山地区には保育所が1カ所しかなく、バスがないと送迎が困難になる人がいますので、ぜひ存続していただけないか。

実態に合った方向
にしていきたい

【答】 川瀬市長

十四山地区の保育バスについては、いろいろと話し合い、実態に合った方向にしていきたいと思っています。

原 沢 久 志 議員



介護認定者に障害者控除 対象者認定書の交付を

【質】 原沢議員

当市では、介護保険の要介護4・5の人を対象として、特別障害者控除対象者認定書を交付しており、要介護1・2・3の人は対象にしていません。

17年度には、県内64自治体のうち40自治体が「障害者」と「特別障害者」を認定していますが、旧弥富町では特別障害者として2人を認定しているだけです。

津島市並み（障害者774人・特別障害者235人）に適用基準を充実に、要介護認定者に障害者控除の認定書を交付していただけないか。

当面は現在の認定基準で対応する

【答】 佐野介護高齢課長

認定書の取り扱いについて、海部事務所管内の市町村の状況を調査したところ、津島市以外は当市と同じ基準で認定していますので、当面は現在の認定基準で対応していきます。

障害者自立支援で 市独自の軽減策を

【質】 原沢議員

障害者自立支援法が10月から本格施行されました。障害者が人間として当たり前の生活をするのに必要な支援をするのが行政の当然の仕事であり、厚生労働省は自治体の判断で独自の軽減措置ができると思っています。市独自の軽減策を拡充していただけないか。

動向を見守り円滑 に実施していく

【答】 横井福祉課長

障害者自立支援法は新しい制度ですので、今後の動向を注意深く見守り、制度が円滑に実施できるように考えていきます。

弥富中学校の跡地 利用の考えは

【質】 原沢議員

教育行政全般について

(1) 子どもが感じる学校のストレスの最大の原因は、点数を競わせ序列を付けて振るい分けをする競争主義的な教育だと考えます。

19年度から全国一斉学力テストが実施されることになっていますが、犬山市のように「やらない」と公言できませんか。

(2) 耐震補強工事が終わっていない校舎の工事計画はどのようになっていますか。

(3) 現弥富中学校の跡地利用と桜小学校のマンモス化解消についてどう考えていますか。

桜小分離校や防災 施設等を検討する

【答】 池田教育長

(1) 「全国学力・学習状況調査」は、児童生徒の学力を客観的につかみ、指導方法の工夫や改善に生かすことで、学力向上に効果があると期待されますので、近隣市町村と同様に実施したいと考えています。

(2) 弥富中学校の移転改築工事が終わり次第、財政当局と相談して、できるだけ早く進めていきます。

【答】 川瀬市長

(3) 弥富中学校の跡地には、桜小学校の分離校の新設や、敷地面積を勘案し、防災施設・文化会館等、地域に必要なものから検討していきます。

高橋和夫 議員



海南病院の医療設備等に
対する行政支援を

質 高橋和夫議員

地域医療設備の充実は、市民が日常生活を安心して送るために欠かせないことです。地方自治体の中には、市民病院の運営に莫大な行政予算を執行しているが、施設の充実や医師不足が深刻な問題になっている所があります。

当市における総合病院としては、愛知県厚生農業協同組合連合会が運営する海南病院（一般病床数547床）がありますが、優秀な設備や医師を擁していることから評判も良く、近隣市町村からの患者も多く連日込み合っています。そこで、今議会で可決された中学卒業までの医療費無料化など、市民に喜ばれる施策はもちろんのこと、有効と思われる医療設備に

対して補助金を出すなど、いろんなかたちで行政支援を行うことが、市民生活の安定と安心に欠かせないと思います。市長の見解をお聞きます。

地域医療の中核的な病院として支援

答 川瀬市長

海南病院は、この地域の唯一の公的病院および基幹病院として位置付けられており、弥富市をはじめ愛西市・蟹江町・飛鳥村・木曽岬町の5市町村と海南病院等で「海南病院運営協力委員会」を組織して、地域の医療・福祉の向上のために調整を図っています。支援については、病棟・手術棟の増築に伴う施設整



▲海南病院新病棟（平成15年2月完成）

備資金の利子補給として、5市町村が12年度から21年度までの10年間に総額15億円を助成しています。弥富市は合計6億円で、年に、旧弥富町分が5000万円、旧十四山村分が1000万円、合計6000万円を助成しています。

また、海南病院には、市民の人間ドック・各種検診

などのほか、市の委託による介護予防事業や「健康づくりフェスティバル」で健康づくりの啓蒙活動に協力をいただいています。

今後も、市民に安全で安心な医療が提供できるよう、地域医療の中核的な役割を担う海南病院に対して引き続き支援していきたいと考えています。

炭 竈 ふく代 議員



「早寝早起朝ごはん」

運動の推進を

質 炭竈議員

子どもの家庭における食事や睡眠などの基本的生活習慣の乱れは、学習意欲や体力・気力に大きな影響を及ぼしていることから、特に食生活に関して、平成17

年7月に食育基本法が施行され、食育の重要性が一段と高まっています。

文部科学省では、18年度から「子どもの生活リズム向上プロジェクト」の対策費として約1億3000万



▲親子試食会〈弥生小学校〉

円の予算を確保し、19年度は3億100万円の予算要求をしています。

そして、この運動の具体的な推進母体として、本年

4月、各界の個人や団体で組織する「早寝早起朝ごはん」全国協議会が設立されました。

このような背景から、小中学生を持つ親と教育に携わる関係者に、食生活等の重要性を知っていただくために、次の点について質問します。

- (1) 子どもの就寝時間や、朝食を食べない小中学生の実態調査はしていますか。
- (2) これらの運動はどのように推進していますか。その他に生活習慣改善の具体的な対策はありますか。

家庭における取り組みの推進を図る

答 池田教育長

(1) 各小中学校では、栄養教諭・栄養士・養護教諭が

中心となって、朝ごはんを食べているか、睡眠を十分取っているか、就寝時間はどうなっているかを調査し指導しています。

その結果は、保健だよりや給食だよりで保護者に知らせ、規則正しい生活や睡眠、バランスの良い食事の摂取による健康的な体づくりの啓発を図っています。

(2) 地域・学校・家庭が一体となった「早寝早起朝ごはん」運動が全国的に展開されており、当市ではPTA懇談会等で、早寝早起きなどの生活リズムや栄養バランスを配慮した食事について保護者に協力を呼び掛けるなど、家庭における取り組みの推進を図っています。

また、各小中学校で1年生の保護者を中心に給食試食会等を実施するとともに、十四山中学校では祖父母を招待した昼食会を実施するなど、海部地区でも自慢できるほど一生懸命に取り組んでいます。



杉 浦 敏 議員

住民税の減免規則を 実態に即し改善しては

質 杉浦議員

国の税制改正による影響で、高齢者や低所得者を中心に払税能力を超えた住民税が課税されるという事態が広がっています。

公的年金等控除の縮小、老年者控除の廃止、高齢者の非課税限度額の現役世代並みへの引き下げが行われ、昨年まで住民税が掛からなかった低所得者に対し、今年には均等割の4000円が掛かってくるということが実際に起こっています。

特に65歳以上の高齢者の場合、これに連動して、介護保険料が去年まで年額2万4300円だったのが、平成20年には一気に5万2500円まで引き上げられてしまつ人も出てきます。京都市では、住民税の所得割の納税義務のない人に

は均等割も免除するという制度があり、3万2000人の住民が対象になっているということです。

当市としても、地方税法の「当該市町村の条例の定めるところにより、市町村民税を減免することができ」という規定を積極的に運用し、京都市等の例を参考に、住民税の減免規則を住民の実態に即したものに改善する必要があるのではないですか。

減免規定の拡充は 考えていない

答 川瀬市長

市民税の減免規定をさらに拡充することは、現在のところ考えていません。ただし、次年度の住民税

の改正は、県と市町村合わせて一律10%となり、課税所得が200万円以下の低所得者に対しては5%が10%と高くなりますが、その分、所得税の税率10%が5%に半減され、調整控除も設けられましたので、住民税と所得税を合わせた税額は、これまでと変わりますのでご理解願います。

子どもの遊び場の 土地の選定経緯は

質 杉浦議員

11月23日の中日新聞に、鰯浦町上本田地内にある子どもの遊び場の問題が取り上げられ、「市長から借りた土地、有効利用されず無駄遣いの声」のタイトルで「最近では、ラジオ体操の時期以外ほとんど利用されていない」という。雑草が生い茂り…」と報道されました。

どういった経緯で市長の土地が選ばれたのか、他に

適当な場所はなかったのですか。

今後も、この契約を解除せずに続けますか。

地元の区長等から 強い要望があつた

答 加藤助役

ご指摘の子どもの遊び場については、地元の区長や子ども会役員等から、子どもたちが身近に遊べる広場を整備してほしいという強い要望がありましたので、地元の方たちともいろいろ相談して、最終的にこの土地に候補地が決まり、平成5年に整備した経緯があります。

当時は非常に活発に利用されていましたが、時代とともに屋外で遊ぶ子どもが減って利用状況が変わってきていますので、今後、利用していただく地元の皆さんとよく議論して、新年度における体制を取っていきたいと思います。

佐藤 博 議員



選挙公約の重要性を

どう認識しているか

質 佐藤博議員

市長の政治姿勢について

(1) 4年前、当時の川瀬町長は「かわせ輝夫の七つの約束」という選挙公約を発表して当選されました。

選挙公約は、有権者との約束事であり守らなければなりません。選挙公約の重要性について、どのように認識していますか。

(2) 11月上旬に行われた市政代表者懇談会について、「教育基本法改正をめぐるタウンミーティングのやりせと同様ではないか」「何のために開催されたのか」と批判の声を耳にします。内容についても、市民の率直な意見や要望が反映されたものであるかどうか疑問を感じます。

弥富市総合計画の策定に当たり、この懇談会と9月

に行われた「まちづくりアンケート調査」だけで、市民の意向や要望が集約されたとするなら、疑問と問題が残ると思いますが、どのように考えていますか。

(3) 海部地区環境事務組合の損害賠償返還請求について新聞等で報道されていますが、市議会には何の報告も説明もありません。

これまでの経過はどのようなになっているのか、相手側が返還請求に応じない場合は訴訟事件になる可能性があるのか、今後の見通しをお伺いします。

公約実現に向け最大限の努力をした

答 川瀬市長

(1) 公約は、行政運営に対

する考え方、目指す方向を住民に知っていただくためのものです。私はその計画の実現に向けて最大限の努力を傾けてきました。

(2) 市政代表者懇談会は、総合計画の策定に当たって、「美しい水と緑 みんなでつくる 交流拠点都市」の実現に向けた施策に反映させることを目的に開催し、生活基盤の整備など身近な問題について、各界の代表者から自由な意見を率直に述べていただきました。

アンケート調査は、総合計画の策定に伴い、市民が考える「住みよいまち・住みたいまち」を調査するため、無作為に20歳以上の市民2500人を対象に行い、市に対する現状評価や施策要望等を把握することで、今後の施策検討の基礎資料とするものです。

(3) 海部地区環境事務組合の損害賠償返還請求の経過については、私が組合管理者に就任する前のことですので、今後、組合の正副管

理者である構成市町村長で十分協議を重ね、組合議会にもお諮りして対応していきます。

教育基本法改正後の使命・職責は

質 佐藤博議員

今回の教育基本法の改正案が可決された場合、地方教育委員会の使命・職責はどのように変化するのかお聞きします。

課題解決のために教育行政を推進

答 池田教育長

今後の地方教育委員会の在り方については、これまで教育委員会が果たしてきた役割と成果を踏まえ、学校・家庭・地域とより密接に連携し、現在の教育が抱える課題を解決するために教育行政を推進していきたいと考えています。

中央幹線に信号機設置

12月22日、中央幹線の交差点（鎌島二丁目）信号機の点灯式で、お巡りさんの制服に身を包んだ大藤保育所の子どもたちによる”渡り初め”が行われました。

これからも、信号を守って交通安全を心掛けてください。



消防団出初式を挙行

1月8日、総合体育館アリーナで、弥富市消防団の出初式が挙行され、十四山地区を含めた約240人の団員が参集しました。

天候が悪く屋内で行われたため、放水や分列行進などはできませんでしたが、多くの来賓が見守る中、終始厳かに式典が執り行われました。

移転改築工事が始まる

弥富中学校の校舎等移転改築工事が本格的に始まりました。

平成20年4月の開校を目指して、校舎をはじめグラウンド・体育館等も併せて整備される予定です

〈鎌島七丁目地内〉

